

が美しい4吉品を金賞に選んだ。全日本厨土協会西日本地方本鹿児島支部が主催し20回目。ホルやレストランで働く36人が、門ごとに赤エビとキビナゴ、黒カンパチ紫芋を使った料理を上げた。タイの三枚おろしやオレツなどの腕を競う「ジュニア術部門」もあり、20人が挑んだ。黒豚を使う肉料理は鹿児島サンイアルホテルの六反田浩明さんが金賞に選ばれた。県産黒豚レ肉のミートボールを紫芋で包み、ドライフルーツで鮮やかに盛り付けた写真も写真。

鹿児島支部の濱田伸一支部長は「若手のアイデアを生かし斬新な料理で、今後さらに増え観光客にも県産食材をアピールたい」と話した。(吉松晃子) その他部門別金賞受賞者は次の通り(敬称略)。

オードブル 前田佳祐(鹿児島サロイアルホテル)▽魚料理 江平早(城山観光)▽デザート 松元夏代(▽ジュニア技術 中島由愛(グレス・ビル・オーシャンテラス)



九州酒販は「各自の違いを味わってほしい」と説明している。南九州酒販 099(260)2815。(小)

焼酎14銘柄 飲み比べて 第1弾5本あす発売

鹿児島県内の14蔵元と酒類卸の南九州酒販(鹿児島市)でつくる薩摩本格芋焼酎生産者協議会は25日、新統一ブランド「14薩摩焼酎飲みくらべはしご酒」の第1弾5本=写真=を発売する。来春にかけて全社分を売り出す。各社が「飲みくらべ」のために芋やこうじ、蒸留法などに注力した製品をそろえた。第1弾の蔵元は指宿酒造(指宿市)、大口酒造(伊佐市)、大海酒造(鹿屋市)、白金酒造(始良市)、若潮酒造(志布志市)。第2弾は11月、第3弾は来年3月に発売予定。全銘柄900ミリ入り税込み

H29.08.24(木) 南日本新聞



候補牛を超音波診断し、サシの入り具合や皮下脂肪の厚さなどを確認する。6月、さつま町

肥育に移れるよう10アールに改訂した県のマニュアルに沿って育成したのが超音波診断装置。現場の意見も取り入れた。(エコー)の結果だった。がら候補牛76頭を選んだ上で、16年4月に「トップレベルの肥育」が16戸に数頭ずつあつた。約15カ月間で農家が上げてもらい、経過ながら今年7月末に牛8頭を決めた。との巡回調査で昨年12月

から、体重測定や血液成分調査に加え、超音波検査を取り入れた。診断には肉用牛改良研究所、畜産試験場の職員を中心として15年に結成した専門チームが当たった。候補牛ではない出荷を控えた肥育牛をエコーで見て、実際に枝肉になった場合の状況と照らし合わせる作業を重ね、精度向上に努めてきた。JA県経済連肉用牛課は「肉質や歩留まりのパランスを見ながら選抜し、いい牛をそろえられる。前回よりも経過は順調で、結果が期待できるのではないかと手応えを語る。宮城全共まで2週間。鹿児島の和牛は全国に通用するのか。5年間の成果が問われる。

から、体重測定や血液成分調査に加え、超音波検査を取り入れた。診断には肉用牛改良研究所、畜産試験場の職員を中心として15年に結成した専門チームが当たった。候補牛ではない出荷を控えた肥育牛をエコーで見て、実際に枝肉になった場合の状況と照らし合わせる作業を重ね、精度向上に努めてきた。JA県経済連肉用牛課は「肉質や歩留まりのパランスを見ながら選抜し、いい牛をそろえられる。前回よりも経過は順調で、結果が期待できるのではないかと手応えを語る。宮城全共まで2週間。鹿児島の和牛は全国に通用するのか。5年間の成果が問われる。

ミナミさんちのク

③6度と時計の長針は1時間に時計盤を1周するから360度動くよ。1時間は60分だから、360度を60分で割って1分に動く角度を求めると6度になるよ。

監修：蔵清逸司

地域情報

◆鹿児島県水士里(みどり)サークル活動シンポジウム 23日、鹿児島市の宝山ホールであった。県内の



3団体が、国の多面的機能支払交付金を活用した農地保全について発表し写真。霧島市佳例川地域農地・水

異動

◆山形屋(9月1日) 紳士服子供用品統括部営業推進担当課長(紳士服子供用品統括部第5係上級セールスマネージャー)濱田定利▽食品統括部営業推進担当課長(商品部食品仕入部上級バイヤー)東郷邦彦▽総務部庶務環境課長(紳士服子供用品統括部営業推進担当課長)角之上賢也

・環境保全管理協定(霧島市福山)は、大や地元企業と連携し、遊休農地で作ったサツマイモの焼酎製造やブランド米販売などの村おこしを紹介した。水士里サークル活動は2016年度末現在、県内41市町村、約4万2千軒で取り組まれている。

ミカンコミバエ 屋久島で雄1匹 1日以来、計9匹

鹿児島県は23日、果実や果菜類の害虫・ミカンコミバエの雄1匹を、屋久島町で新たに誘殺したと発表した。町内の誘殺は1日以来で、計9匹となった。県食の安全推進課によると、22日のトラップ(わな)調査で確認した。23日に現地対策会議を開き、誘殺地点の半径1キロ以内に誘殺板約440枚を設置した。今後、トラップ調査を週2回に増やす。7日の寄主植物調査では幼虫など確認され

ず、15日のトラップ調査でも誘殺がなかった。門司植物防疫所は、中国大陸から強い西風が吹いていたと説明し、飛び込みの可能性があるといる。(成尾由理香)

子牛 (前中央家畜市場・23日)		子牛 (小林市場・23日)	
入売	場却 421	入売	場却 460
メ	最高 418	メ	最高 450
ス	最低 1404000	ス	最低 1639440
最	平均 358560	最	平均 378000
平	最低 711781	平	最低 720466
均	最高 1189080	均	最高 1063800
低	最低 51840	低	最低 520560
均	最高 899016	均	最高 781428
高	総売上 321200640円	高	総売上 347923080円
比	前回 34945円安	比	前回 42043円安